



新年度は、じっくり市民参加型、市民活動も世界をターゲットに決めます！

この度、無農薬とタイの森の再生をお手伝いする団体とコンタクトが取れました。農薬の変わりにタイで取れるハーブを使ってできた作物でのディナーを企画しています。みなさんのアイディア・得意な料理をどんどんお寄せください。秋の収穫時に開催予定です。



支援センターラビカ‘あ、の活動にご協力いただいたみなさんです。

押見さん、大坂さん、谷本さん
武藤工業さん

本当にありがとうございました。

*ここ最近のボランティア状況についてのお知らせでした。ご芳名もれの方がおりましたら、お許しいただきたいと思っております。

らびかの屋根裏部屋

本田 憲司

1994年3月、もうこの町の“住人”になることはないだろうと思い、大学進学のために赤平から釧路へ。幸か不幸か、就職難と当時住んでいた学生アパートの契約も切れることもあり、ひとまず帰郷。いつ新天地へ旅立てるのかと、実家に身を寄せていた。その後、縁あって、赤平で社会人としてのスタート。最後の2年間は、「市民ミュージカル」やこのNPOの活動など、慌しく、そして充実した日々。たくさんの人との出会いという、かけがえのない“財産”を得ることが出来ました。

この春、深川市への転勤。私の職場がある、納内地区は農村地帯。とって温かい人がたくさん。大地や、山々を見ていると、心が自然に洗われていく。仕事を通して、ごくごく一部の人たちにしか、まだ出会っていませんが、これからの生活に胸膨らみます。

と同時に、故郷赤平への想いも膨らんできました。NPOの活動を通して、こんなことや、あんなことをしてみたかったなあと…。今後は、職場のある深川、そこで出会う人たちとのふれあいを大切にしながら、赤平出身者として深川に自信をもって赤平の素晴らしい風を運びたい。逆に赤平に深川の素晴らしい風を運ぶために、何かをしたいなと考えています。

故郷はいいなあ～新天地での新しい出会いっていいなあ～と思う、春 4月でした。



<発行>NPO法人赤平市民活動支援センター 〒079-1136 赤平市本町3丁目1番8(赤平市公民館内) TEL・FAX 32-3888

<発行責任者・表紙>新出 郁子(広報部チーフ) <編集者>佐藤 智子(広報部)

E-mail: rabika@mocha.ocn.ne.jp URL: http://www12.ocn.ne.jp/~rabika/